文化工房かりやの10年

文化工房かりや 年表		刈谷市の出来事
刈谷市総合文化センターオープン	2010	平成22年度 市制施行60周年
刈谷市総合文化センター市民スタッフとして発足。 『文化工房かりや』と名称決定。 第1回企画公演(小ホール) 『舞音&響 Tap Dance show』開催	2011	平成23年度 「はやぶさ」帰還カプセル 特別公開
第2回企画公演(小ホール)『ミュージカルハイライトinアイリス』開催 アールマルシェvol.1開催(アトリウムでの企画公演、以後毎年開催) BUNKA創刊号発行(刈谷の文化を発信する情報紙、年4回以後毎年発行)	2012	平成24年度 刈谷ハイウェイオアシス 刈谷館リニューアル
 第3回企画公演(小ホール) 『ようこそ朗読の世界へ』開催 文化工房かりやカリチャー倶楽部 ラジオ放送開始	2013	平成25年度 刈谷駅前観光案内所開設
 第4回企画公演(小ホール) 『かりおが僕らにくれたもの』開催 第14回特与機構技術賞受賞	2014	平成26年度 第1回刈谷国際 音楽コンクール開催
 第5回企画公演(大ホール) 刈谷市制施行65周年記念事業 『はるかにつながる空の下』開催	2015	平成27年度 夢と学びの科学体験館オープン 市制施行65周年式典挙行
「まなびの広場」8企画参加 (以後毎年企画参加)	2016	平成28年度 刈谷市人口15万人超える
 第6回企画公演(小ホール) 『にじいろ音楽隊 with クラウンコンサート』開催	2017	平成29年度
文化工房かりやカリチャー倶楽部 ラジオ放送終了	2018	平成30年度 刈谷市歴史博物館オープン
 「真夏のBUNKA祭」(ギャラリー)開催 YouTube動画配信開始	2019	令和元年度
第7回企画公演(小ホール) 刈谷市制施行70周年記念事業 『～万葉ろまん～青海郡依佐美野ものがたり』開催	2020	令和2年度 市制施行70周年

文化工房かりや スタッフ募集中

刈谷市総合文化センターを拠点とし、文化芸術を発信していく事を目的とする市民ボランティアグループです。

市民の文化にスポットライト

ぶんかのめ

ぶんかのめ vol.30

みつまつ さとる

1932 刈谷町出身
1945 旧制刈谷中学校入学
1951 新制刈谷高等学校卒業
2011～『刈谷ふるさとガイドボランティアの会』会員
2017～『刈谷ふるさとガイドボランティアの会』会長
刈谷市郷土文化研究会会員
刈谷古文書研究会会員

刈谷ふるさとガイドボランティアの会 会長
三ツ松 悟 氏

刈谷の歴史をつなぐ

三ツ松さんは、刈谷にある遺跡や史跡の歴史・文化を人々にお伝えしている「刈谷ふるさとガイドボランティアの会」の会長で、他にも「刈谷市郷土文化研究会」と「刈谷古文書研究会」に所属し、刈谷の歴史について調べたり本を書いたりされています。

―歴史が好きになったきっかけは？

高校時代に憧れた先生から『歴史は偶然ではなく、必然で出来上がっている科学のようである』という教えを聞き、目から鱗が落ちるほど感動したのがきっかけです。奥がとても深くて今でも楽しみが尽きないですね。

―刈谷ふるさとガイドボランティアの会の活動を教えてください。

刈谷市内の旧跡を巡る「史跡めぐり」ガイドと「学童の昔の生活体験」指導の2つの活動があります。史跡めぐりでは14のコースがあり、特に「城下町コース(亀城)」「鎌倉街道コース(東境)」がおすすめのコース。「いつもの道や、街や、場所が、ガイドの説明によって全く違うものに見えた!」と感動してもらえると、とてもやりがいを感じます。生活体験では市内の小学生に授業の一環として郷土資料館(城町)で昔の生活を体験してもらうのですが、子供たちが昔のものに触れてびっくりしたり楽しんでくれたりして、歴史をつなぐことができるのがうれしいですね。そのほかにも刈谷について勉強したり、ガイドブックを作ったりしています。一緒に活動してみたい方、ぜひ刈谷市歴史博物館へご連絡ください。また、グループで「史跡めぐり」をしてみたい方は、刈谷市郷土資料館へお申し込みください。 ［担当：野村敏］

■詳細は、文化工房かりやのブログ[http://bkkariya.wordpress.com/]で!

Column 文化工房 回り舞台 vol.10

「刈谷の八景・今昔物語」

八景文化は11世紀の中国で生まれ、13世紀に日本に伝来しました。以降禅僧らにより各地に伝播し、16世紀から17世紀には近江八景が成立し、公卿や大名や豪商らの景観文化として全国各地にお国自慢の八景が続々と誕生しました。現在、日本全国には国の調査で届け出された八景だけで平成19年(2007)時点で1133景の多きに達しています。その中に明治初期に旧刈谷藩士村上忠浄が旧藩領内の情景を表現した和歌の「刈谷八景」が含まれています。刈谷地区では明暦4年(1658)に、第6代刈谷藩主稲垣重昭が牛頭天王社(現元刈谷神社)遷宮記に神社周辺の景観を八景文言で表現したのが最初であるとされています。稲垣重昭が景観表現に用いた情景文言は"晴嵐・帰帆・夜雨・暮雪・落雁・夕月・落照・晩鐘"の八つで、これは元祖中国の瀟湘八景の表現に準ずるとともに近江八景にも通じており、八景文化が大名たちの文芸活動として浸透していた事を物語っています。なお稲垣重昭の八景文言と全く同一の表現で書かれた漢詩の「市原八景」文書写しが刈谷市御幸町の旧家書庫から見付かっていますが詳細は不明です。また元禄時代には京都の公卿衆と交際のあった豪商の大岡家が深見八景(現高松町崇福寺周辺)を創ったという記録が残されています。さらに江戸時代末期の天保年間に小山地区の庄屋など文化人8人が合作した「小山八景」は伝統を遵守した格式高い和歌8首で構成されており、刈谷地区でも八景文化が庶民層にまで広がった様子が分かります。現在刈谷では昭和34年(1959)に市内の中学校教師合作による写真版「刈谷八景」が知られています。刈谷城址亀城公園や小堤西池のカキツバタや依佐美鉄塔跡地(現フローラルガーデン)などの八ケ所で構成されていますが、これらの景観地は刈谷市史跡めぐりでも紹介する新名所となっています。

［今回の担当］"三ツ松悟さん"(特別寄稿)です。

もっとつながる

文化工房かりや

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104
TEL:0566-21-7430／FAX:0566-21-7440
mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp
Check!
Twitter：@B_K_kariya
Facebook：bunkakouboukariya
Blog：bkkariya.wordpress.com

ご自由にお持ち帰りください FREE

BUN-KA Kariya Culture [ブンカ] vol.33 令和4年5月1日発行 デザイン／濱里田舞
No.1 2012 June
design / Takaro Yuka
発行 〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104
2-104 Wakamatsu-cho, Kariya-shi, Aichi, 448-0858, Japan
編集 文化工房かりや広報部
ecfr@bunkakoukariya.public.esthetic.section

文化工房かりや

市民目線の文化発信：カリジャンとカリジェンヌのための新しい"刈谷文化"を紡ぐ情報紙

BUN-KA [ブンカ]

Kariya Culture

ハル号 vol.33 2022

ひかりのはな

［特集］
刈谷八景の今

［文化工房のあゆみ］
文化工房かりやの10年

［ぶんかのめ］
刈谷ふるさとガイドボランティアの会会長 **三ツ松悟**

スペシャルコラム **刈谷の八景・今昔物語**

文化工房かりや

“刈谷 Kariya Hakkei 八景”の今

昭和64年(1989)1月1日に発行された、かりや市民だより(1430号)に掲載された「刈谷八景」。
刈谷市内の景観を選定し紹介されていました。
33年経った今、景色はどうなっているのか？当時の記事を基にその場所を訪れてみました。
現在の八景の写真と周辺のおすすめの場所も併せてご紹介します。

かりや名物ご紹介

お菓子処 みづ乃（刈谷市御幸町）

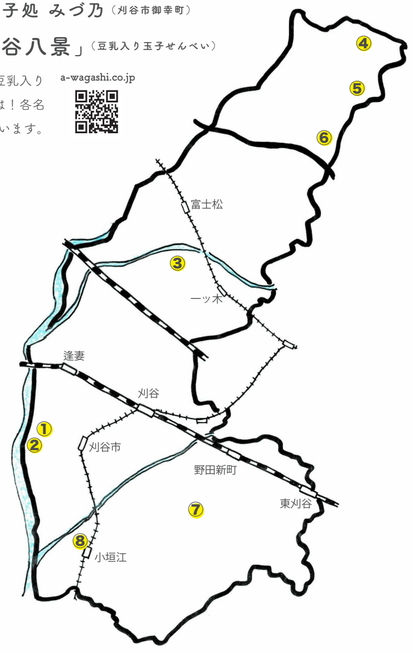
「刈谷八景」（豆乳入り玉子せんべい）

60年前の刈谷八景を描いた、豆乳入りせんべいです。なんと裏側には！各名所の詳しい説明が印刷されています。

a-wagashi.co.jp

刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」に乗って
「刈谷八景の今！」を楽しんでみてください。

刈谷八景(昭和64年)		令和の同じ場所
亀城の城趾	①	亀城公園、十朋亭
衣浦の四季	②	市原神社の裏船着き場
逢妻の清流	③	総合運動公園と逢妻川
井ケ谷のカキツバタ	④	小堤西池のカキツバタ群落
洲原の公園	⑤	洲原公園
境（岩ケ池）の鴨池	⑥	ハイウェイオアシスと岩ケ池公園
依佐美の鉄塔	⑦	依佐美送信所跡地
神明の森	⑧	神明神社と境内



1 亀城の城趾

かりまる 東刈谷・逢妻線
「刈谷市体育館バス停」徒歩1分

刈谷城(別名「亀城」)は1533年水野忠政により築城。1871年の廃藩により破却。
1936年旧本丸は整備されて「亀城公園」に、旧三ノ丸には「郷土資料館」(登録有形文化財)が建つ。

八

ここにお城があったんだね。お城の石垣の復元がされるの楽しみ

亀城公園の桜

刈谷城跡の碑

おすすめ

郷土資料館

はた織体験 毎週土日有(詳しくは郷土資料館へ)

2 衣浦の四季

かりまる 小垣江・依佐美線
「司町4丁目バス停」徒歩2分

衣浦湾の市原港(市原稲荷神社裏～港町)。
港町には江戸から米や酒なんかが運ばれてきていた。

八

歴史博物館北側に橋の一部が保管されてるよ

境川、逢妻川、猿渡川3つの川の重なる写真。3つの川にかかる三連橋の一部

おすすめ

銀座のタワーマンション

※刈谷市内で最高層

3 逢妻の清流

かりまる 東境、西境、運動公園・東刈谷線
「総合運動公園バス停」徒歩2分

逢妻川(延長10.7㎞)は境川と並行して流れている川。
昭和の頃まで舟運として利用されていた。「刈谷小唄」にも歌われている。

八

昔の一面田んぼだった景色がすっかり住宅街に変わってるね

逢妻川と刈谷市総合運動公園

逢妻川沿いの桜
春は桜、バーベキューも楽しめる

総合運動公園ではイベントも開催

4 井ケ谷のカキツバタ

国の天然記念物、日本三大カキツバタ自生地。
5月になると清楚な青紫色の花が池一面に咲き誇る。

かりまる 東境線
「洲原公園北口バス停」徒歩15分

八

ボランティアの草取り・整備により毎年綺麗なカキツバタが咲いてるね

小堤西池のカキツバタ群落

5 洲原の公園

洲原池と周囲に広がる松林を背景に整備され静かで奥深い景色を作っている。春は桜、自生のツツジ、広い芝生もあり市民の憩いの公園。

かりまる 東境線
「洲原公園北口バス停」徒歩1分

八

ウォーキングコース、温水プール、バーベキューデイキャンプ場もあり遊具もいっぱい

芝生広場からの洲原池

6 境(岩ケ池)の鴨池

かりまる 東境、西境線
「刈谷ハイウェイオアシスバス停」徒歩1分

冬鳥が飛来する岩ケ池、湖面に夕日が差して紅く染める。現在は、「岩ケ池公園」として刈谷ハイウェイオアシスに隣接し緑いっぱいで大人も子供も楽しめる人気の公園。

八

刈谷ハイウェイオアシス観覧車

建立850年前奈良時代、北っ子の森を通って行けるよ

岩ケ池の中にある蛇島の岩ケ池井財天

おすすめ

富士松北小学校のアベマキの木と北っ子の森

7 依佐美の鉄塔

重要な情報の発信地として日本政府により1929年依佐美に送信所が設置されたが、役目を終えた2006年に解体。跡地には記念館が建ち、誰でも楽しめる花と緑のあふれる公園「フローラルガーデンよさみ」として市民に親しまれている。

かりまる 小垣江・依佐美線
「フローラルガーデンよさみバス停」徒歩1分

八

依佐美鉄塔跡に植えられたクスノキ

依佐美送信所記念館

8 神明の森

天照大神・豊受姫命(とようけひめのみこと)を祀っている刈谷市最古の神社。本殿拝殿とも神明造りで神々しい。境内には桜樹が多く、桜の名所「神明の森」復活を目指している。御朱印が綺麗で人気。

かりまる 小垣江・依佐美線
「小垣江駅西バス停」徒歩9分

八

春には桜の木のライトアップもされています

刈谷市最古、自慢の神社です。

宮司さん